

夏の安全なまちづくり県民運動

8月1日（金）～10日（日）

夏は、家族揃っての旅行などで家を留守にする機会が多く、留守宅を狙った空き巣などの侵入盗の多発が懸念されます。

また、夏休み中に入り、規則正しい生活から開放された子どもたちが、気の緩みから重大な事件・事故に巻き込まれることもあります。

警察では、愛知県や愛知県防犯協会連合会とともに『夏の安全なまちづくり県民運動』を実施します。

この機会に、皆さんも今一度気持ちを引き締めてください。

【被害防止のポイント】

○ 住宅を狙った侵入盗の防止

帰省や旅行などで家を留守にしがちになり、留守宅を狙った空き巣などが増加します。

外出時は確実に戸締りをして、ドアノブには「サムターンカバー」、窓には「補助錠」や「警報機」を付ける等の対策をしてください。

○ 子どもや女性が被害者となりやすい犯罪の防止

性犯罪は一年を通じて発生していますが、特に夏は開放的な気分になり、服装が薄着になることから、痴漢や盗撮、性犯罪等が増加します。「常に狙われている」という意識を持ってください。

○ 自動車に関連する盗難被害の防止

被害を防ぐため「短時間でも、すぐ済む用事でも必ずキーは抜き、ドアロックをする」「車内に荷物を置かない」を実行しましょう。

換気のため窓を開けたままにしたり、エアコンを作動させるためにエンジンをかけたまま車から離れることは止めましょう。

○ 振り込め詐欺の被害防止

依然として振り込め詐欺は発生しており、犯人は、被害者をコンビニやスーパーのATMコーナーに誘導しようとする傾向があります。

「すぐに振り込まない」「一人で振り込まない」「不審に思ったら警察に相談する」ことを心掛けてください。

地域・家族ぐるみで安全なまちづくり